

令和2年第5回 大石田町議会臨時会会議録

令和2年7月28日(火)、大石田町議会臨時会が大石田町議場において招集された。

午 前 10 時 00 分 開 会 を 宣 す。

出席議員は次のとおり。

1 番	二藤部冬馬君	4 番	岡崎英和 君	7 番	大山二郎 君
2 番	今野雅信 君	5 番	村形昌一 君	8 番	遠藤宏司 君
3 番	熊谷富太郎君	6 番	小玉 勇 君	9 番	齋藤公一 君
				10 番	芳賀 清 君

地方自治法第121条の規定により、説明のため議会に出席した者の職氏名。

町 長	村岡藤弥君	保健福祉課長	八 鍬 誠君
副町長	花田 淳君	産業振興課長	
教育長	本多 諭君	(兼)農業委員会事務局長	鈴木 太君
総務課長	高橋慎一君	建設課長	遠藤秀樹君
まちづくり推進課	大沼進悟君	教育文化課長	早坂勝弘君
町民税務課長 (兼)会計管理者	土屋弘行君	総務課総務主幹	小玉大輔君

本会議に、職務のため出席した者の職氏名。

議会事務局長	小林基流
議会事務局議会主査	大沼裕子

提 出 議 案 目 録

議案第42号	令和2年度大石田町一般会計補正予算(第5回)
同意第43号	令和2年度大石田町学校給食事業特別会計補正予算(第3回)

議 事 の 経 過

1. 議長(芳賀清君)

お早うございます。

ただ今から、令和2年第5回大石田町議会臨時会を開会いたします。

出席議員数も定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。なお、今臨時会における出席者の服装については、クールビズ対応としておりますが、温度調節は各自上着の着脱で行って下さい。

本日の会議は、議事日程第1号によって進めてまいります。日程第1. 会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、大石田町議会会議規則第125条の規定により、

8番 遠藤 宏 司 君、

9番 齋藤 公 一 君を指名いたします。

次に、日程第2. 会期の決定を議題といたします。会期につきましては、議会運営委員会を開催していただき協議を願っておりますので、その結果につきましては、議会運営委員会委員長より報告を求めます。議会運営委員会委員長 村形 昌 一 君。

1. 議会運営委員会委員長(村形昌一君)

お早うございます。

議会運営委員会の結果について報告いたします。

去る、7月17日告示、本日招集されました令和2年第5回大石田町議会臨時会の会期、議事運営等について、本日午前9時30分から議会運営委員会を開き、提出される案件等を考慮し、慎重に協議した結果、本臨時会は皆さんのお手元に配付している会期、議事日程のとおりであります。

即ち、本臨時会は本日1日限りの会期とし、その内容についてご説明申し上げ、皆さんのご賛同をいただきたいと存じます。

はじめに、ただ今報告している会期の決定をしていただきます。

次に、本臨時会に提出されている議案2件を一括して上程し、提出議案について町長の提案理由の説明、及び担当課長の補足説明をしていただきます。

補足説明終了後、本会議を休憩していただき、議場において全員協議会を開催し、本臨時会の議案説明をお願いしたい考えであります。

全員協議会終了後、直ちに本会議を再開し、議案の審議をお願いし、終結後、本臨時会を閉会する考えであります。

なにとぞ、本委員会の決定どおり皆さんのご賛同とご協力をいただき、会議を進めて下さるようお願い申し上げます、委員会の報告といたします。

令和2年7月28日 大石田町議会運営委員会委員長 村形 昌 一。

1. 議長(芳賀清君)

ただ今、議会運営委員会委員長より報告のとおり、本臨時会の会期は本日1日限りとすることにご異議ありませんか。(議員:「なし。」)異議なしと認めます。

従って、会期は本日限りとすることに決定いたしました。

次に、日程第3. 議案第42号、日程第4. 議案第43号、以上2件を一括して議題として上程いたします。

日程第5. 町長より、上程議案についての提案理由の説明を求めます。大石田町長 村岡 藤 弥 君。

1. 町長(村岡藤弥君)

お早うございます。

本日、第5回町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましてはお忙しい中ご出席をいただき、心から感謝を申し上げますとともに、日ごろより町政各般にわたって特段のご指導、ご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、ただ今上程になりました議案の概要についてご説明申し上げます。

議案第42号「令和2年度大石田町一般会計補正予算(第5回)について」であります。既決の予算に歳入歳出それぞれ2億3,847万3千円を追加して、予算総額59億3,772万1千円とするものであります。

議案第43号「令和2年度大石田町学校給食事業特別会計補正予算(第3回)について」であります。既決の予算に歳入歳出それぞれ87万5千円を追加して、予算総額9,051万6千円とするものであります。

以上、今臨時会に提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げました。なお、詳細については担当課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

1. 議長(芳賀清君)

続いて、担当課長の補足説明を求めます。総務課長 高橋 慎一 君。

1. 総務課長(高橋慎一君)

私から補足説明をさせていただきます。

議案第42号をご覧いただきたいと思っております。議案第42号の表紙をめくっていただきます。「令和2年度大石田町一般会計補正予算(第5回)」歳入歳出それぞれ2億3,847万3千円を追加し、総額59億3,772万1千円とする。内容についてはご説明申し上げます。全般的には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加配分と、マイナンバーカード制度導入を受けての補正予算となっております。

歳出の概要について申し上げます。臨時交付金事業に関するものとしては、歳出の1ページ、2ページにあるとおりでございます。2款1項19目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費として計上させていただいております。主なものとして、議会中継インターネット配信設備整備事業1,990万円、新生活様式対応の避難所に改修するための避難所施設設備整備事業3,900万円、感染症予防のために設備改修、消耗品や備品を購入する庁舎等感染予防対策事業1,782万5千円。大石田保育園空調設備整備事業1,590万円、町内飲食店等で使用できる「大石田エール券」の発行事業補助金3,650万円、新生活様式に対応しながら地域コミュニティの強化を目指す、地域活動活性化事業補助金1,420万円。おおかた大きいものについては以上でございますが、その他については臨時会の資料として補正予算概要を配布しておりますのでご覧いただきたいと思っております。

臨時交付金以外の事業については、歳出の3ページ、4ページ、3項1目戸籍住民基本台帳費をご覧いただきたいと思っております。これは、マイナンバー制度導入に係るシステム改修業務委託料1,124万3千円でございます。それらの財源といたしましては、歳入の1ページ、2ページにありますけれども、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億548万5千円、あとは、社会保障番号制度システム整備費補助金1,124万3千円となっております。なお、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の当町に対する追加配分金額は2億3,773万5千円となっておりますが、今回の補正予算においてはそのうち2億548万5千円を予算化、財源充当しております。残りの3,225万円について留保しておりますが、これは、未だ終息が見えない新型コ

コロナウイルス感染症に対して要望や住民支援に緊急の財政出動を要する場合もございますので、それらに向けて留保しているということですのでご理解をお願いしたいと思います。

続きまして、議案第43号をご説明いたします。議案第43号の表紙をめくっていただきたいと思っております。「令和2年度大石田町学校給食事業特別会計補正予算(第3回)」歳入歳出それぞれ87万5千円を追加し、総額9,051万6千円とする。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するもので、給食センター内にエアコンを設置するための工事請負費を盛り込んだ補正予算となっております。

以上、2議案の補足説明とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

1. 議長(芳賀清君)

以上をもって、上程議案について町長の提案理由の説明及び担当課長の補足説明を終わります。

暫時休憩いたします。議員は議席で休憩願ひます。

休憩 午前 10 時 09 分

再開 午後 12 時 25 分

1. 議長(芳賀清君)

再開いたします。

議案の審議を行います。日程第6. 議案第42号を議題といたします。ご質疑のある方の発言を許します。2番 今野雅信君。

1. 2番(今野雅信君)

42号の歳出1、2ページ、2款1項19目の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業費ですが、第2弾として様々な政策が出て素晴らしい、今まで行き渡らないところまで行き渡るように補助金が補助してあって素晴らしい、良いなと思っております。また、いろんな政策があつて、なかなかどうやって自分が該当するかということが複雑にだんだんなつてきていると思うんです。そこをやっぱりシンプル化して、分かりやすく説明する必要があると思うんですけど、いかがかお伺ひしたいと思います。

あともう一点、第2弾として今回このような様々な施策あるんですけど、今度8月中旬にお盆の時期迎えます。そういった場合、帰省の人だったり、学生が帰って来ないとかいった場合のそういった対応を第3弾、第4弾でどのように補助していくのか、もし展望がありましたらお聞かせいただきたいと思ひます。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

ある意味今回で全て行き渡らないところはないと、業種等もありますけれども、まずは困っている人に対しての様々な手当ては、まずは今回で終わりというふうな形になるかと思ひます。

あと、お盆に関しては、今回、前回出した1万円の部分はまだかなり枠がありますので、前回手

を挙げなかった人とかもう一回再確認しながらできるのであれば、もう一回情報を発信したりしながらやればいいのかなどは思います。

1. 議長(芳賀清君)

2番 今野雅信君。

1. 2番(今野雅信君)

是非検討していただきたいと思います。また、駅今後たぶんたくさん利用されると思うんですけど、そういった水際対策だったり今後の感染者が出た場合の対応なんかをどのようにお考えなのかちょっとお聞かせいただきたいと思います。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

かなり難しい問題だと思いますけども、今回体温計、まず入れますけども、それは本当に誰か見張ってるじゃないですけども、誰が管理して誰がどういうふうに止めるのか、あるいはその後の行動をどういうふうに把握するのかっていうのはかなり難しい部分ではありますが、まずはそういった人たちに自己管理、自己責任というものを促す、検温するっていうのがまず第一なのかなと思います。

1. 議長(芳賀清君)

2番 今野雅信君。

1. 2番(今野雅信君)

今後、都心でまだ爆発的に感染が広がっている状況で、大石田さ子ども戻ってきたなんていったときに風評被害が起きないように、是非ともそういったことも告知しながら、是非ともコロナで心が荒まない大石田町になるように、是非とも広報して欲しいと思いますけど、いかがでしょうか。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

周りの人を聞いてみても、『「お盆には帰ってくるな。』』というように言ってるよ。』という人がかなりいます。やっぱり、関東、地方からやっぱりお盆に帰りたいと言っても、実際個々の家ではもう今回は来るなというような声もありますので、そういったやっぱり意識、あとは東京あたりでも往来はなるべく避けていっての今の状況ですので、お盆当たりまでこのまま続くのかちょっと分からないんですけども、もう一回修復っていうか、波が、大きな波が下がってお盆当たりには緩和になるというようなこともあろうかと思いますが、実際のところJRの指定券もかなりの空きがあるというふうなことです、そこは自主的にそういった対応はしてるのかなと思います。

1. 議長(芳賀清君)

他にありませんか。8番 遠藤宏司君。

1. 8番(遠藤宏司君)

2億3,800万円という巨額の補正、まあ、町長の示された予算、私は賛成しますけども、ただ、我々日々町の方で暮らしていろいろな問題が目に入りますけども、これは町長自身が得る情報の中でお答え願いたいんですけども。スイカの鳥獣被害、鳥獣被害を専門に活動する方もいなくなったんですけども、カラスの被害、そういうふうな聞いてるがどうが。2人ほどからカラスの被害出てるって言われたんですけども、ほれの分もあるっちゃうごどで、まあ、議長は予算に出てないもの質問するなって言うんですけども、我々は町民の日々の生活を背負ってるわけなんです。

そのへんの情報はありますか。ですから、この分もあるそうですけども、ただ、この予算が使えないかもしれないんですけども、そのへんも十分考えて行政の職務に充てていただきたいと思うんですけど。(芳賀議長:「要望でいいなんねが。」) 要望じゃなくて、行政の職務に充てていただきたいということで、答弁だけお願いします。(村岡町長:「情報を聞いてるがってこと。」) うん。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

ですと、私のところまで上がってきてませんので、産業振興課の方で分かってるんだったら。先ほど話したのちよっと分かんないんですけども。

1. 議長(芳賀清君)

産業振興課長 鈴木太君。

1. 産業振興課長(鈴木太君)

鳥獣被害、特にカラスの被害でございますが、これ毎年言われてることでもありますので。今年はですね、7月中旬にカラス捕獲の許可を自治体の方に出しております。猟友会とも話をしまして、8月いっぱいまでカラスの捕獲を認めるというふうな許可を出しておりますので、そのへんは猟友会で話合っって班を組んで、空気銃になると思いますが、そのへんで回ってると思います。

1. 議長(芳賀清君)

他にないですか。4番 岡崎英和君。

1. 4番(岡崎英和君)

それでは、歳出1、2ページです。2款1項19目のコロナ関連の中で、予算概要書の方のナンバリング、整理番号46番です。スポーツ環境整備事業92万7千円、先ほど担当課の方から説明を受けた内容では、今までお借りして使っていた芝刈り機と同じような大きさの機械を導入するというふうな説明がありました。今回国からの手当があつて自己財源ではないので、これを機に考え方の軸をちよっと変えて、今まで借りて使ったものの軸ではなくて、あの面積から相当するにそれに見合ったサイズの機械というものの導入、多少お金はかかってもというふうに考えますが、担当課の方の説明ではそのへんは従来今までお借りして使っていたものをベースに、最終的には考えるっていう説明がありました。町長どう思われますか。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

もちろん全て良いもの、全てこれで財源で賄えばいいじゃないかという話ですけども、議会の中継インターネットも一般財源を組み込んでます。実際本当にどの部分がどうなのか、コロナ関係で、例えばこの中の改修事業とかは当てはまらない、だからそこは一般財源でしますよということで、この芝刈り機に一般財源1千万円付け加えて最高の物を買えばいいじゃないかという考えもあろうかと思いますが、そこまでしなくても芝刈り機の場合は現状と同じ機種程度で良いかとは思っています。

1. 議長(芳賀清君)

4番 岡崎英和君。

1. 4番(岡崎英和君)

当然、町の一般財源に食い込む部分とか予算的などころもあると思いますが、無理しない程度の範囲の中でできるだけサイズアップを図っていただきたいというのが本音でございます。今後

も、まだ機種の検討はできるというふうな担当課の説明でしたので、そのへんも勘案した上でご判断願いたいと思います。答弁は結構です。

1. 議長(芳賀清君)

スポーツ推進委員会で検討して下さい。他にないですか。6番 小玉 勇 君。

1. 6番(小玉勇君)

今回のことは別に反対事何もありませんけども、例えばいろんなチケットとかクーポン券作ってですね、それを実際貰ったときに使わなかった場合どうすんのかっていうことで問題になると思うので、極力きちんとね、先ほども町外の人使っているのかどうか、そのへんも是非考えてもらいたいということをはっきりしてもらいたい。

まず、前回の、例えば僕ら65歳以上の人に、老人たちのためにつてあったまりランドの風呂券貰いましたけども、使わない場合はあれ他の人にあげてもいいのかどうかっていうのもよく分からない。例えば、俺より上の老人の人にあげてもいいのかどうか、そこらへんのところを今度はっきりして貰わないと。ただ、結局、あれは向こうに、あったまりランドに行かない限り向こうで請求できないことになるんだろうから、そのへんのところはこういうふうに、これからの発行することも是非なんですけども、他の人も使っているのかどうかをきちんと説明してもらいたいと思います。そのへん、これからのことはいいけど、前の風呂の、あったまりランドのはどういうふうにかね。お願いします。

1. 議長(芳賀清君)

保健福祉課長 八 鍬 誠 君。

1. 保健福祉課長(八鍬誠君)

そう言われるとあれですが、クーポン券見ていただいたと思いますが、後ろの方にきちんと書いてございます。原則論で言いますと当人しか使えません。

1. 議長(芳賀清君)

若い人さげねげばいいなんねが。他にないですか。7番 大 山 二 郎 君。

1. 7番(大山二郎君)

歳出の2款1項19目17節、18節に関わって、今回避難所の整備と備品購入等あります。これはまあ、コロナウイルスに関しての備品購入、整備となるわけですが、この避難所、まあ、前回も言ったんですけども、避難所に関してはある程度のところ、まあ、中学校、このへんだったら主になるのかなと。大石田の場合は水害なので、堤防決壊等により水浸しになったときの避難場所という形になるかと思えます。ただ、これの、今回の3密を避けるということになれば、先ほどの説明だと中学校の体育館だと150ぐらいっていうことは、本来は700名ぐらいの予想しているのが150名しかいないってなれば、もっと避難場所を確保しておかなければいけないのが現状であろうかと思えます。本来は避難なんかしなくてもいいような形が一番なんですけども、そのために住民の方に早くですね、いろんな形で周知する必要ってのがハザードマップとかですね、先ほど課長の答弁では来年の3月か4月ですかね、そのへんを目標にしているという話がありました。以前話を出した時には、国交省から非常にこれを見せると町民が混乱するのではないかっていうぐらい酷いものを提示されているような話なんですけども、どんな酷いことであろうとも住人にやっぱり周知する必要があろうかと思えます。今、九州の方でも今回すごい雨降ってますよね。100年に1度どころじゃない、今まで経験したことないなんてのは日常茶飯事ぐらいに毎回聞こえるくらいなものが出ておりますので、本当の最悪、国交省が最悪って言ってもそれを超えるようなものがほとんど出てきておりますので、時間を置くことなく、なるべく来年とか言わずに今から会議なり、いろんな教育

委員会等の施設とかそういったところと協議をしてですね、避難場所はしっかりと確保して、なおかつ「こういう被害が出ますよ、万一の時は。」っていうことを住民周知をする、早期にする必要があるかと思いますが、今のスケジュールどおり来年3月まで待って下さいとか、そういう形で進むのか、いかがなんでしょうか。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

たぶん、強靱化等も関連してくるのかなと思いますけども、もちろん避難所の準備、行政でしなければいけない部分はしっかりと対応しなければいけないわけですけども、加えて、やっぱり自分はどこに避難するのか、避難所以外の自分が避難できる場所、親戚であったり知人の家であったり、あるいは水害の場合は車をまずどこに避難させるのかとか、そういったこともしっかりと前もって個々が分かるようなハザードマップを自分なりに、やっぱり町から提示されているハザードマップ以外にも様々なそういった意識付けっていうものをちゃんとしていかなければとは思っております。

1. 議長(芳賀清君)

7番 大山二郎君。

1. 7番(大山二郎君)

だから、それをやるためにはですね、地域に自主防災組織もあるわけですから、そのへんとの兼ね合い、そして、やっぱり早くハザードマップ的な、災害になった場合はこうなりますっていうことを住民に早く周知することがよりそういう危機意識とか、そういうものを喚起できるのではないかなと思うので、計画どおりじゃなくて早急にそういうことを段取りを組んで早めていく考えはないんですか。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

今あるハザードマップが役に立たないかというそれはまた違った話で、やっぱり1千年に1度とか想定外の想定した内容であれば、地震であったり大震災のような災害あった場合は、全く水害以外にも考えなければいけない部分もありますので、そこは地震の場合、水害の場合様々な、大火災の場合などなども網羅したような形の中で強靱化へに向けての話合いは、話合いっていうか準備はしっかりとしていきますので、スピーディーにやるっていうことは本当に大事ですけども、あまりにも煽るっていうことも悪いのかなと思います。そのへんはバランス良く進めていければと思います。

1. 議長(芳賀清君)

7番 大山二郎君。

1. 7番(大山二郎君)

単純に答えて下さい。なるべく早くしますっていうのか、計画どおりこのままやっていきますっていうのか、どっちですか。

1. 議長(芳賀清君)

町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

計画どおりやっていきます。

1. 議長(芳賀清君)

他にないですか。(議員:「なし。」)ご質疑もないようでありますので、質疑を終結いたします。

次に、討論のある方の発言を許します。(議員:「なし。」)討論もないようでありますので、これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第42号を採決いたします。採決は起立により行います。お諮りいたします。議案第42号は原案のとおり決するに、賛成の諸君の起立を求めます。全員起立であります

よって、議案第42号「令和2年度大石田町一般会計補正予算(第5回)」は原案のとおり可決されました。

次に、日程第7. 議案第43号を議題といたします。ご質疑のある方の発言を許します。(議員:「なし。」)ご質疑もないようでありますので、これをもって質疑を終結いたします。

次に、討論のある方の発言を許します。(議員:「なし。」)討論もないようでありますので、これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第43号を採決いたします。採決は起立により行います。お諮りいたします。議案第43号は原案のとおり決するに、賛成の諸君の起立を求めます。全員起立であります。

よって、議案第43号「令和2年度大石田町学校給食事業特別会計補正(第3回)」は原案のとおり可決されました。

以上をもって、令和2年第5回大石田町議会臨時会の全日程を終了いたしました。町長より発言を求められておりますので、これを許します。大石田町長 村岡藤弥君。

1. 町長(村岡藤弥君)

本日の第5回町議会臨時会にあたり、一言お礼を申し上げます。

議員各位におかれましては、ご多用にもかかわらず急遽ご参集いただき、そして慎重審議のうえ、提案いたしました案件を原案どおりご可決いただきまして誠にありがとうございました。

一旦は落ち着いていた新型コロナウイルス感染症の感染者数ですが、7月に入り首都圏を中心に増加に転じ、中旬以降は全国的な広がりを見せております。東京都や大阪府などの都市部では、1日の感染者数が緊急事態宣言前を超える状況になっており、今後の更なる増加が懸念されております。

全国的には人の移動が活発化しておりますが、当町においてもこの連休中は県外から多くの観光客が訪れていることから、町民の皆様には感染症対策を徹底していただくよう改めてお願いするものであります。

本日ご可決いただきました新型コロナウイルス感染症対策関係の予算につきましては、感染症予防対策や経済対策など多岐に及んでおりますので、事業の早期着手により着実に対策を行ってまいりたいと考えておりますので、議員各位におかれましても変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

1. 議長(芳賀清君)

これをもって、令和2年大石田町議会臨時会を閉会いたします。ご苦労様でした。

閉会 午後 12 時 45 分